

# 議会だより しすい

編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171 (代表)



No.202

令和4(2022)年2月15日発行

写真/珍しい積雪にしすいちゃんもビックリ!  
1月7日 4年ぶりの大雪で町一面が銀世界に



議会HPは  
こちらから  
Check!

12月  
定例会

11月  
臨時会

令和2年度決算及び議案審議等..... P2 ~ P7

委員会・本会議での審議結果..... P8 ~ P9

一般質問 議員10名が町政を問う..... P10 ~ P15

町長所信表明..... P16

特別職・一般職職員・議員の期末手当を減額..... P17

# 歳入・歳出共に大幅増

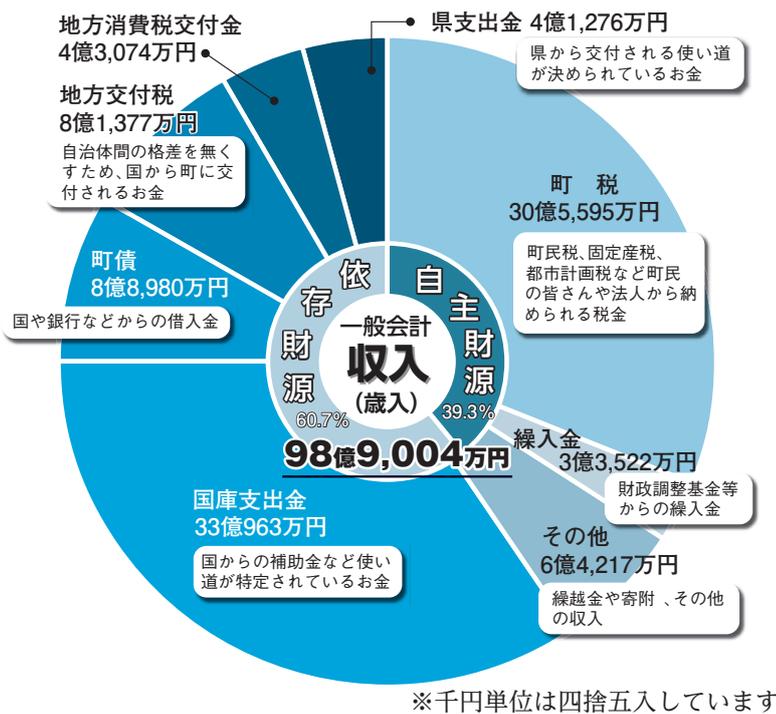
## 令和2年度決算認定

9月定例会において緊急事態宣言の発令に伴い、閉会中の継続審査となった令和2年度各会計決算については、議員6名による「決算審査特別委員会」が3日間にわたり開催され、執行部からの詳細な説明を受けるとともに、厳正な審査を行いました。

12月定例会では、決算審査特別委員会の審査結果報告を受け、審議の結果、各会計決算はいずれも原案のとおり認定されました。

## 令和2年度一般会計決算

令和2年度の一般会計決算額は、歳入98億9,004万円（前年度比37.4%増）に対し、歳出95億5,208万円（前年度比41.2%増）となり、繰り越し財源を差し引いた実質収支は、2億2,770万円の黒字となりました。



## 歳入の概要

- ▶ **町税**…個人町民税、固定資産税、軽自動車税、都市計画税の増加により前年度比3,905万円増額。
- ▶ **繰入金**…財政調整基金、地域福祉基金、東日本大震災復興基金などからの繰入減少により前年度比4億4,156万円減額。
- ▶ **国庫支出金**…特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の増加により前年度比25億9,231万円増額。
- ▶ **町債**…役場中央庁舎耐震補強等改修事業債、中央公民館施設整備事業債等の借入増加により前年度比4億3,270万円の増額。
- ▶ **寄附金**…開発寄附金及びふるさと納税の増加により前年度比552万円の増額。

特別会計	国民健康保険		介護保険		後期高齢者医療	
	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
	22億1,444万円	21億6,327万円	13億4,053万円	13億528万円	3億1,110万円	3億1,015万円

水道事業会計	水道事業		資本的	
	収入	費用	収入	支出
	5億186万円	3億9,623万円	1,264万円	8億567万円

下水道事業会計	下水道事業		資本的	
	収入	費用	収入	支出
	3億4,642万円	4億4,733万円	9,413万円	1億8,574万円



自主財源とは、国や県等に依存しないで町独自に調達できるもので、町税、繰入金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金などがあります。また、依存財源とは、国や県等に依存して調達する財源で地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債などがあります。

# 令和2年度決算

## 定額給付金等コロナ対策や 庁舎耐震補強等改修工事などにより

### 歳出の概要

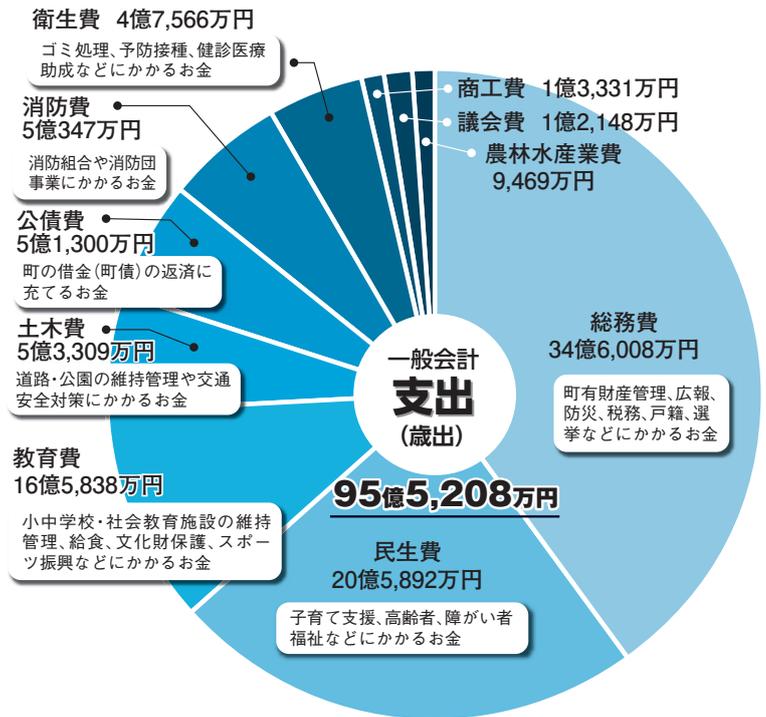
▶**総務費**…新型コロナウイルス感染症緊急経済対策関連、役場中央庁舎耐震補強等改修工事、防災用備品購入などにより前年度比22億4,853万円増額。

▶**民生費**…臨時子育て支援金、放課後児童クラブ運営業務などにより前年度比9,769万円増額。

▶**教育費**…中央公民館施設整備工事、中学校屋内運動場大規模改修・テニスコート整備工事、GIGAスクールネットワーク整備事業などにより前年度比5億3,842万円増額。

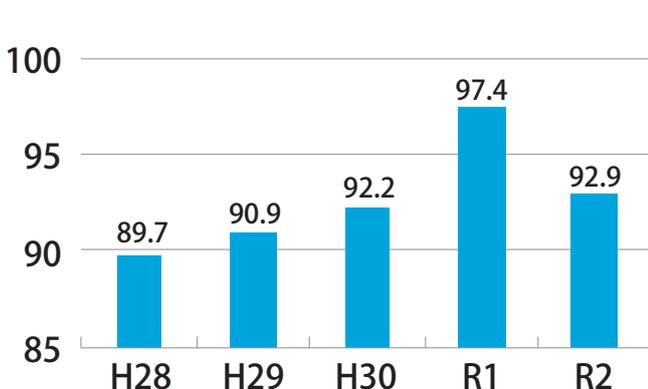
▶**土木費**…社会資本整備総合交付金事業の交通安全施設整備（無電柱化）や令和元年台風等に伴う災害応急・復旧工事等の減少により前年度比4,268万円減額。

▶**衛生費**…子ども医療費、がん検診業務等の減により前年度比1,599万円の減額。



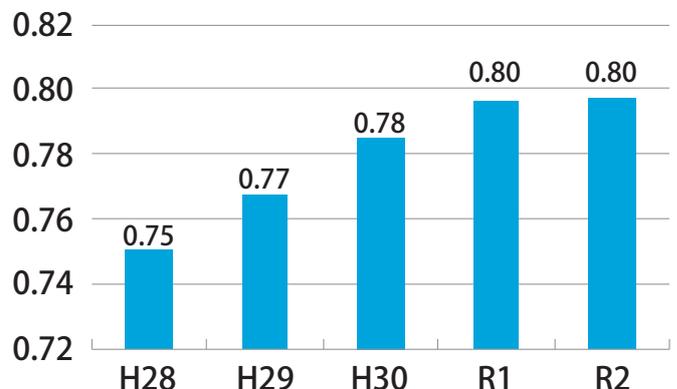
※千円単位は四捨五入しています

### 経常収支比率の推移



人件費、扶助費、公債費など毎年度経常的に支出される経費に対し、町税、普通交付税など毎年度経常的に収入される経費がどのくらい使われているのかを表す指標です。数値が大きいほど、自由に使えるお金が少なく、財政の硬直化が進んでいるといえます。

### 財政力指数の推移



各自治体の財政力を示す数値で過去3年間の平均値です。この数値が大きいほど財源（収入）に余裕がある状態となり、1を超えると自治体の収入のみで財政運営ができるものとして、国からの普通交付税が交付されません。

# 決算審査特別委員会での意見・要望事項

## 全般的事項

○コロナ禍における徴税業務は厳しく財源確保も難しくなっている。限りある税金の有効活用をするため、実施事業を検討し、反省点を次年度予算に反映されたい。

## 一般会計

○地域経済活性化のため、今後も寄付の増加が見込めるよう、ふるさと納税の返礼品について「体験型」返礼品の導入など、その品種及び内容の充実を図られたい。

○職員の健康管理についてストレスチェック等により、心の健康と維持に努め、職員が気軽に産業医等に相談できるよう職場環境を整えられたい。

○消防団員の人手不足解消のため処遇改善等を検討されたい。

○児童生徒を対象に実施している国内・国際交流事業はコロナ禍により事業の中止が続いているが、そのような状況下においても現地の魅力や学びが経験できるよう努めてほしい。

○ふれ愛タクシーの利用者が減少している傾向が続いているため、タクシーの増車等改善策を検討し、利用者が増加するよう利便性向上に努められたい。

○飼い主のいない猫の不妊手術等を進めている活動団体に対し、町は手術費用を補助しているが、手術費用以外の活動助成についても検討されたい。

○ちびっこ天国の跡地利用について、検討状況等を議会に報告されるよう努められたい。

## 下水道事業会計

○慢性的な赤字体質から脱却するための対策を早急に講じられたい。

### <決算審査特別委員会>

委員長 大石 法子	副委員長 小早稲 美穂
委員 高崎 長雄	地福 美枝子
齊藤 博	御園生 浩士

# 令和2年度決算に関する討論

税金の無駄遣い  
未利用施設・活用見通しの  
ない土地購入に**反対**

竹尾 忠雄 議員

小坂町政の目的不明の土地購入として、令和2年度に本佐倉地区の神明公園用地を購入したが未だに整備されていない。平成27年度には柏市の不動産会社から頼まれて購入した山林1万6千㎡も未だに活用されていない。この山林は、事業を行うには境界確認が必要で、測量費だけでも1千万円以上が必要となる。また、令和元年度にはJA跡地を購入し、解体費用を含めると1億円以上となるが、この土地も活用の見通しが立っていない。監査委員や決算審査特別委員からも指摘されている未利用施設（ちびっこ天国、町体育館、酒々井小学校プール跡、旧味だより等）の維持管理費が毎年支出されており、税金の無駄遣いである。ふれ愛タクシーは平成29年度から1台減車し、利用者が激減した。高齢者が増えている中では増車し、利便性を向上させるのが行政の責任である。以上を指摘し、一般会計決算の反対意見とする。



各分野の代表、公募委員で構成された「総合計画等策定懇談会」

12月定例会

第6次酒々井町総合計画基本構想を可決

今後10年間の町の目標を策定し、一層のまちづくりを推進

基本構想の策定は、住民ニーズを把握するための「住民意識調査」や各分野の代表を委員とする「分野別懇談会」、各地域の代表として自治会長などを委員とする「地域別懇談会」、将来の町を担う子どもたちによる「中学2年生アンケート・生徒会役員による懇談会」からの意見などに基づき検討を重ね策定が進められました。

12月定例会概要

12月定例会は、12月14日から12月22日までの9日間の会期で開催され、9月定例会において閉会中の継続審査となった令和2年度各会計決算認定と町長から提案された議案11件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果、議案第3号を除く議案は、原案のとおり認定・可決しました。

なお、議案第3号については、さらなる調査検討が必要であることから閉会中の継続審査となりました。

また、町長から5期目の町政運営を行うにあたり、重要課題への対応や方針などについて所信表明が行われました。

行政報告では、町長から「新

型コロナウイルス感染症に係る町の対応について」、教育長からは「青少年交流の家に係る提訴の経過報告について」の報告が行われました。一般質問は、10名の議員が2日間にわたり行い、新型コロナウイルスウイルス感染症対策や地域振興、防災対策など町政全般について質問しました。

議案

■議案第1号■

子育て世帯臨時特別給付金  
専決処分により増額補正

国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯について、「令和3年度子育て

■議案第2号■

第6次酒々井町総合計画の  
基本構想の制定

第6次酒々井町総合計画の基本構想とは、令和4年度を初年度とした10年後に目指すべき町の将来都市像を「人自然歴史文化が調和した活力あふれるまち酒々井」とし、これを実現するためのまちづくりの基本目標、土地利用構想、基本構想の取組方針を定めたもの。

<一般会計補正予算額>

補正前	68億4,887万7千円
補正額	1億4,669万2千円
合計	69億9,556万9千円

世帯への臨時特別給付金」を支給するにあたり、早急に予算を補正する必要が生じたことから、専決処分により、増額補正したため、議会に承認を求めたもの。  
※全員賛成で承認

なお、第6次酒々井町総合計画は、令和4年3月末に策定を行う予定。

※全員賛成で可決

■議案第3号

町長の資産等の公開に関する条例の一部改正

政治倫理の確立のための酒々井町長の資産等の公開に関する条例については、現在町長の職にある者のみを対象としているが、公職の影響力による不正を未然に防止し、町民の監視の下に置き、政治倫理の更なる向上を図るため、公職にある町議会議員も資産等の公開の対象となるよう、所要の改正を行うもの。

※閉会中の継続審査

■議案第4号

軽自動車税の一部の減免申請手続きを簡略化

軽自動車税について、身体に障がいがあつて歩行の困難な方などが継続的に行っている減免申請手続きを簡略なものとし、

納税者の利便性を図るために税賦課徴収条例の一部を改正するもの。

※全員賛成で可決

■議案第5号

出産育児一時金の引き上げなど国民健康保険条例の一部改正

産科医療補償制度の掛金の見直しに伴う健康保険法施行令の改正に基づき、出産育児一時金の支給額について現行の40万4千円から40万8千円へ引き上げるもの。併せて、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の改正に伴い、新型コロナウイルス感染症の定義を改めるもの。

※全員賛成で可決

■議案第6号

子どもに係る国民健康保険税の均等割額の減額措置を導入

国民健康保険税について、子ども（未就学児）に係る被保険

者均等割額を減額し、その減額相当額を公費で支援する制度が国において創設されたことに伴い、国民健康保険税条例の一部を改正するもの。

※全員賛成で可決

討論

子育て世帯の経済的負担を減らすことが重要なことから賛成

白井 則邦 議員

今回の改正は、子育て世帯の負担軽減を図るため、国民健康保険に加入している未就学児に係る均等割額の2分の1を減額するものである。

会社員らが加入する健康保険は、扶養する子どもへの保険料がかからない。その一方で、国民健康保険では、年齢に関係なく、子どもを含め全員が保険料負担の対象となる。人々の支え合いという美しい言葉のもとで、子どもたちが、大人たちを支えるという構造はおかしいと思う。日本は、子育てする親に厳しい社会であり、近年は「子育て罰」という言葉が使われるほどである。子育て世帯の経済的負

担を減らすことが非常に重要である。

この先、更なる減額、そして対象の拡大もしていただきたい。

■議案第7号

一般会計を増額改正

歳出の主な内容は、新型コロナウイルスに伴う接種業務委託費等や、米作農業者緊急支援給付金をはじめ、障害者総合支援事業及び高齢者外出支援タクシー事業に係る各種扶助費、道路事業に係る狭あい道路拡幅工事、除草業務、樹木管理業務、排水管清掃業務等の委託費等の緊急を要する経費の計上その他、新型コロナウイルス感染症の影響により中止及び縮小となった各種事業の整理や決算見込みから増減額の調整並びに今年度の人事院勧告及び県の人事委員会勧告の内容に準じた人件費の補正等を行うもの。

歳入では、町税の増額及び各事業費の増減に伴う国・県支出金の増額及び減額補正を行うもの。

また、町農業振興地域整備計画策定業務の継続費の変更及び、町道02-009号線道路改良事業についての繰越明許費の設定と、広報紙印刷製本及び折込業務他5件の各事業についての債務負担行為設定をお願いするもの。

※全員賛成で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	69億9,556万9千円
補正額	5,063万3千円
合計	70億4,620万2千円

討論

町民・子どもたちの生活と命を守る事業に賛成

小早稲 美穂 議員

感染症予防対策事業については、令和4年2月頃に新型コロナワクチン3回目接種が予定されている。1回・2回目が職域接種等の方でも町内の病院にて3回目の接種が可能となっている。1・2回目のように、町内

での接種がスムーズに実施されるようお願いする。

大室台小学校施設整備管理事業については、2年ほど前に学校隣接地の擁壁が傾いていることに気づき、教育委員会やまちづくり課、印旛土木事務所などに伝え、さまざまな方々に何か良い策はないかと検討していた。だが、私も良い案を探っていた。

今回の施設改修工事は子どもたちを守る壁となることから、早期実行をお願いする。

町と町民とが協力し、一人ひとりが前向きで安らかな生活を送られるように賛成する。

■議案第8号  
国民健康保険特別会計を増額補正

<国民健康保険特別会計補正予算額>

補正前	22億7,492万円
補正額	2,055万4千円
合計	22億9,547万4千円

今回の補正は、一般被保険者高額療養費及び保険税還付金の支払に際し、予算の不足が見込まれるため、増額補正を行うもの。

※全員賛成で可決

■議案第9号  
水道事業会計補正予算

<水道事業会計補正予算額>

収益的支出	補正前	4億2,973千5千円	資本的支出	補正前	2億9,239万4千円
	補正額	△38万1千円		補正額	13万5千円
	合計	4億2,935万4千円		合計	2億9,252万9千円

今回の補正は、収益的支出、資本的支出のいずれも今年度の人事院勧告及び千葉県人事委員

会勧告の内容に準ずるもののほか、職員の転居による手当の増額について補正を行うもの。

※全員賛成で可決

■議案第10号  
下水道事業会計減額補正

<下水道事業会計補正予算額>

収益的支出	補正前	4億6,041万5千円	資本的支出	補正前	3億646万7千円
	補正額	△4万4千円		補正額	△5万5千円
	合計	4億6,037万1千円		合計	3億641万2千円

今回の補正は、収益的支出、資本的支出のいずれも今年度の人事院勧告及び千葉県人事委員

いて補正を行うもの。

※全員賛成で可決

■議案第11号  
追加議案  
子育て世帯及び住民税非課税世帯への臨時特別給付金事業経費を増額補正

国の補正予算に伴う子育て世帯等臨時特別支援事業と住民税非課税世帯に対して1世帯あたり10万円を現金で支給する、住

民税非課税世帯への臨時特別給付金事業経費を増額補正するもの。

※全員賛成で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	70億4,620万2千円
補正額	4億3,115万7千円
合計	74億7,735万9千円

# 沖縄県中城村が町の防犯ボックスを視察

沖縄県中城村なかくすくせん議会の総務常任委員会5名が12月23日に視察研修のため来町しました。

研修内容は、防犯ボックス事業と町の観光事業で、総務課危機管理室職員が、防犯ボックス設置の経緯や活動内容を説明し、説明後には、駅前交流センターの視察も行いました。また、経済環境課職員が観光事業について町の



駅前交流センターではセーフティアドアドバイザーのお話を聞きました

状況や概要等を説明しました。



中城村の現状を説明

地域防犯の核となりうる防犯ボックスの説明に熱心に耳を傾けられ、運用方法や活動内容等について活発な意見交換が行われました。

# 各常任委員会での審査結果

◎…委員長 ○…副委員長

## 総務常任委員会

■総務課、企画財政課、税務住民課、会計室、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員 ◎御園生／○内海川島／竹尾小早稲

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第3号	政治倫理の確立のための酒々井町長の資産等の公開に関する条例の一部改正	閉会中の継続審査		
議案第4号	税賦課徴収条例の一部改正	3	0	原案可決
議案第6号	国民健康保険税条例の一部改正	3	0	原案可決
請願第7号	令和3年度一般会計補正予算(第5号) ※委員会担当分野	3	0	原案可決

## 教育民生常任委員会

■住民協働課、健康福祉課、教育委員会についての審査を担当

委員 ◎地福／○白井佐藤／齊藤金塚／酒瀬川

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第5号	国民健康保険条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第7号	令和3年度一般会計補正予算(第5号) ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第8号	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	5	0	原案可決

## 経済建設常任委員会

■経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会についての審査を担当

委員 ◎須藤／○大石高崎／越川江澤

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第7号	令和3年度一般会計補正予算(第5号) ※委員会担当分野	3	0	原案可決
議案第9号	令和3年度水道事業会計補正予算(第2号)	3	0	原案可決
議案第10号	令和3年度下水道事業会計補正予算(第3号)	3	0	原案可決

# 本会議での 議決結果

議案と議決結果（町長提出のもの）

賛成・・○ 反対・・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名 (件名は一部省略)	本会議の採決結果																
		採決結果	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	須藤	御園生	川島議長	齊藤	内海	佐藤	江澤	竹尾	地福	越川	高崎
<b>&lt;令和2年度決算認定&gt;</b> 9月定例会で閉会中の継続審査となった議案																		
3	一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定	認定 (賛12・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	水道事業会計決算の認定	認定 (賛14・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	下水道事業会計決算の認定	認定 (賛14・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>&lt;専決処分&gt;</b>																		
1	専決処分の承認[一般会計補正予算(第4号)]	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>&lt;条例の制定&gt;</b>																		
2	基本構想の制定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>&lt;条例の一部改正&gt;</b>																		
3	政治倫理の確立のための酒々井町長の資産等の公開に関する条例の一部改正	閉会中の継続審査 (会期中に議決されなかった案件を、議会の決議によって閉会中も引き続き審査するもの)																
4	税賦課徴収条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	国民健康保険条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	国民健康保険税条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>&lt;令和3年度補正予算&gt;</b>																		
7	一般会計補正予算(第5号)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	水道事業会計補正予算(第2号)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	下水道事業会計補正予算(第3号)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	一般会計補正予算(第6号)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 一般質問

# 町の考えを問う

ここが聞きたい

一般質問とは、議員が、事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を町長などの執行機関に求めることです。

12月定例会では、12月21日と22日の2日間で10名の議員が登壇し、町政について質問しました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容を質問順にお知らせします。

※今回の第7回定例会の会議録(3月上旬発行予定)は、インターネットまたは図書館でご覧いただけます。



① P11	御園生 浩士 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の防災</li> <li>・学校教育</li> <li>・町の都市計画</li> </ul>
② P11	大石 法子 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育関係</li> <li>・中小企業への支援</li> <li>・マイナンバーカードの普及</li> <li>・コロナワクチン接種</li> </ul>
③ P12	酒瀬川 芳子 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6次総合計画基本構想(素案)「便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくり」</li> <li>・第6次総合計画基本構想(素案)用途別土地利用の方針から「しすい安全安心創造ゾーン」の治水問題</li> <li>・京成宗吾参道駅前の整備、エレベーター設置要望の進捗状況</li> </ul>
④ P12	金塚 学 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済の振興・発展</li> <li>・歴史と文化を大切にしたまちづくり</li> <li>・安心安全なまちづくり</li> </ul>
⑤ P13	江澤 眞一 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町政等について</li> </ul>
⑥ P13	白井 則邦 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家への対応</li> <li>・JA跡地</li> <li>・保護者支援プログラム</li> <li>・会計年度任用職員</li> </ul>
⑦ P14	齊藤 博 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中川の治水対策</li> <li>・京成宗吾参道駅の周辺整備</li> <li>・家族介護慰労金支給事業</li> </ul>
⑧ P14	地福 美枝子 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後4年間の基本姿勢</li> <li>・コロナ感染対策</li> </ul>
⑨ P15	竹尾 忠雄 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・米価暴落米危機打開</li> <li>・緊急車両が通れる町道の改善</li> <li>・旧JA東酒々井支店跡地</li> <li>・通学路の安全対策</li> </ul>
⑩ P15	小早稲 美穂 議員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・带状疱疹ワクチンの補助</li> <li>・踏切安全対策</li> <li>・交通安全</li> <li>・旧味だより</li> </ul>

**問** 地震の緊急放送には改善点が見受けられる

**答** 県北西部で震度5弱以上を観測すると自動的に情報が流れる

**問** 10月7日22時41分頃、震度5弱の大地震が発生した。当町の震災対策では、震度5弱で対策本部の設置が義務づけられているが、今回は設置されなかった。(当町は震度3だった)

しかし、防災行政無線としいメール配信サービスでは、「震度5弱の地震が発生しました。火の始末をしてください。テレビ・ラジオをつけ、落ち着いて行動してください。」と発信していた。災害は昼夜関係なく起こる。気が動転している町民に対して、緊急事態放送で震度5弱の地震が町で起きたものと考えるのが普通ではないか。震度の発表について、改善の余地があると思うが考えを伺う。

**総務課長** 千葉県北西部で震度5弱を観測したので、自動的に防災行政無線やメール配信サービスが流されたが、町は震度5弱以下だったので、対策本部の設置には至らなかった。北西部で震度5弱を観測した時点で当町にもその可能性がある場合には防災行政無線やメール配信サービスが流れることになっているため、細かなシステムの設



御園生 浩士 議員

定については調べさせてもらう。



千葉県北西部に震度5弱以上の緊急地震速報が発出された時、自動で防災行政無線が流れます

**事件に対する学校への指導方法は**

**問** 11月24日に愛知県やとみ富市の中学校で生徒が校内で刺され死亡した事件が発生したが、当町では、生徒・教職員に対してどのような指導を行ったのか。

**教育次長** 事件翌日に「児童生徒の刃物等危険物の校内持込禁止に係る指導の徹底について」を各校長宛に発出し、児童生徒の刃物等の危険物の校内持込禁止について改めて指導の徹底を図るとともに、児童生徒の発するサイン、例えば服装や言動等の変化を見逃さないよう通知した。

**問** 町内3校への今後のスクールサポートスタッフの配置は

**答** 教員の勤務時間減少に有効なので、県に要望していく

**問** スクールサポートスタッフが配置されて3年になるが、今後の配置の見通しを伺う。

**学校教育課長** スクールサポートスタッフを令和元年度より小学校2校に配置し、教材プリントの印刷など、教員の資格がなくてもできる仕事をしてもらい、小学校からは教員の勤務時間の減少に有効に作用していると聞いている。中学校には配置されていないので、中学校への配置と小学校2校への複数配置を併せて、県に要望していきたい。

**問** 電車通学をしている地域のスクールバス運行の可能性を伺う。

**学校教育課長** スクールバスの運行は、路線バスの廃止に伴い、これを利用していた児童を対象にはじまり、現在も旧路線バスを利用していた地区に限って運行している。今後も現状のスクールバスの運行を継続していきたいと考えている。

**「コロナ禍で苦しむ事業者支援を**

**問** 当町において事業展開をしている事業者で町独自の支援策に該当せず、



大石 法子 議員

いまだ、コロナ禍からの出口が見通せない事業者がいるが、今後の支援の考えを伺う。

**経済環境課長** 町独自の支援策として中小企業等緊急支援給付金等を実施し、現在は、飲食業に係るセーフティゾーン認証制度を実施している。国では、持続化補助金などの支援事業を実施しており、県では、中小企業等事業継続支援金や飲食店感染防止対策認証事業などの支援事業を実施している。

**マイナンバーカードの普及を**

**問** マイナンバーカードの普及への取り組みを伺う。

**税務住民課長** 12月1日現在の町の交付枚数率は37.9%となっている。



マイナンバーカード受付窓口の様子

マイナンバーカードの仕組みが高齢者には理解しにくいところもあるので、親切に説明をしながら対応していく。

問

町内4駅周辺の土地利用構想は

答

計画的な土地利用を誘導していく



酒瀬川 芳子議員

第6次総合計画基本構想(素案)が示されたことから、次の点を伺う。

**問** 基本構想(素案)の中の、市街化調整区域における土地利用の方針に沿った、若年層の定住促進と生活利便・支援施設の立地誘導では、J R酒々井駅、京成酒々井駅からそれぞれ1 km以内の区域とされているが、具体的に場所が決まっているのか。また、若年層の定住と生活利便・支援施設とはどのような構想か。

**まちづくり課長** J R、京成の両酒々井駅からそれぞれ半径1 km以内の区域を誘導する区域としているが、具体的な場所は定めていない。また、両駅の近接性を活かし、住宅や生活利便・支援施設の立地を誘導していく。

**問** 「鉄道駅を活かして地域拠点の形成と活性化」とされている、京成宗吾参道駅、J R南酒々井駅は、市街化調整区域にあるため、地域活性化に向けて、土地利用を誘導する区域を500 m以内とされているが、周辺住民の生活拠点として商店などの誘導を図るなど、行政に提案された事例があるのか。

**まちづくり課長** 窓口において土地に関する調査等はあるものの、都市計画提案に係る事前相談書の提出はない。

**問** 「しすい安全安心創造ゾーン」は、子育て、医療、防災など、町民の安全安心な生活の核となるエリアであるが、このエリアには土砂災害ハザードマップで、中川流域浸水箇所などがある。今後の治水対策をどう進めていくか。

**まちづくり課長** 中川の治水対策は、調節池、集団移転、内水対策などを組み合わせることで、総合的に流域の治水安全度を高めることとしている。最も効果的と考える調節池については、財源の確保に向けて検討している。

**京成宗吾参道駅前の整備促進を**

**問** 京成宗吾参道駅前の整備やエレベーター設置要望の進捗状況は。

**企画財政課長** 町と京成電鉄は100年安心して住めるまちづくりに寄与するため、「包括的な連携に関する協定」を締結し、宗吾参道駅や駅周辺のまちづくりについて、定期的な情報交換の場を設け、まちづくりに関し相互に共有を図っている。

問

酒々井インターチェンジを有効活用した企業誘致を

答

富里市、八街市と連携して取り組んでいく



金塚 学議員

**問** 町では富里市や八街市など隣接する自治体との連携で企業誘致に取り組む雇用の拡大を推進していると伺うが、その取り組みの進捗状況を伺う。

**町長** 富里市、八街市と「酒々井インター周辺活性化協議会」を設立し、インターチェンジ等周辺の土地利用に係る先進事例の調査・研究とともに、成田国際空港の状況や各市町の課題等の情報を共有しつつ、地方創生に向けた取り組みの検討を行っている。

歴史と文化を大切にしたいまちづくりを

**問** 持続可能なまちづくりを考える中で、「旧酒々井宿」の保存整備の進捗状況はどのようになっているか。また、景観保全の計画はどのようになっているのか併せて伺う。

**生涯学習課長** 旧酒々井宿周辺の整備を「まちの顔づくり推進事業」として位置づけ、現在、部分的であるが、蒔吉五郎家、島田長右衛門家・政五郎家など、後世への継承を第一に考えながら、修景整備・歩道整備などを進めている。将来的にはこれらが一体となり、



当時の繁栄を伝える蒔吉五郎家(酒々井)

道路補修工事の際は地元の見解を

**問** 町道の補修工事は、限られた予算の中で計画的に行われていると推察するが、新規の工事ではなく、補修工事の場合でも地元自治会や沿線住民の声を聴く機会があるのか伺う。

**まちづくり課長** 「酒々井町舗装長寿命化修繕計画」に位置付けられた箇所を優先的に工事を実施しているが、計画に含まれない箇所や優先度が低い箇所についても、地元自治会や沿線住民等から要望書や相談があった場合は、早期対応の必要性や予算等を勘案しながら補修工事を実施している。

町の景観計画にそって景観保全を行いながら来訪者の利便性も高めた町の観光拠点として整備を行っていきたい。

問 循環バスの導入を

答 多様な移動手段を検討する

小坂町長5期目の町政運営の取り組みについて次の点を伺う。

問 酒々井町人口ビジョンについて。

企画財政課長 令和2年国勢調査人口は、2万745人で、平成27年国勢調査人口より約1%（210人）減少した。さらに、国立社会保障・人口問題研究所の推計では令和42年には、約1万4千人前後まで減少するとの推計も出されているが、町は地方創生の取組を着実に進め、令和13年における目標人口を現在と同程度2万人の維持を目指していく。

問 循環バスの導入を検討すべき。

町長 少子高齢化社会の進展と併せて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のような不測の事態が起こりえる社会状況等を鑑み、町へ来訪された方を含め、利用者が安全安心して利用できる「新しい生活様式」にも柔軟に対応可能な移動手段の提供を求められていることから、多様な移動手段について広く検討していく必要があると認識している。

問 防犯ボックス事業の県補助金が今



江澤 眞一議員

年度で終了するが、来年度の計画は。総務課長 警察官OB3人を採用し、自治会等との合同パトロールや児童生徒、女性の帰宅時間帯に合わせた見守り活動、店舗への防犯指導など、地域住民が安全安心に暮らせるまちづくりを目指して活動している。町としては県補助金が終了する来年度以降も引き続き防犯ボックス事業は実施する。



地域防犯の核となる酒々井町防犯ボックス

問 まるごとしすいの委託事業である商品開発等コンサルタント業務について来年度の予定を伺う。

経済環境課長 来年度は、地域資源を利活用した加工品等試作品の開発やアウトレット内で地元産野菜等を販売する「酒々井満喫イベント」の開催等を予定している。

問 空き家バンクの開始時期は

答 年度内に開設する

問 空き家バンクの開始時期は。企画財政課長 年度内に空き家バンクを開設し、空き家所有者に空き家バンク開設のお知らせをするなど、制度の周知と登録の促進に取り組み、空き家の有効活用による移住・定住促進及び地域の活性化を図っていく。

J A跡地利用の方針転換理由は

問 J A跡地について、改修には多額の費用を要すると見込まれるため、予定していた耐震診断業務を行わずに建物を除却すると方針転換されたが、改修に多額の費用がかかることが分かったのはいつなのか。また、それまで建物除去を決定できなかった理由は何か。

経済環境課長 6月議会後に分かった。耐震診断業務の発注作業と並行して、酒々井町公共施設等総合管理計画に基づいて、概算改修費を算出したため、建物除去の意思決定ができなかった。また、現在も行われている「木曜市」など建物の需要も考慮していた。

育児への不安・孤立化の解消を

問 保護者の育児への不安・孤立化を



白井 則邦議員

解消するため、保護者参加型のプログラムが各自自治体で実践されている。酒々井町では実施されているか。副町長 町では、保護者を支援する各種事業を実施しており、安心して子育てができる体制を整えている。

町で実施している保護者支援事業

- こども相談【健康福祉課】 育児の困りごと相談など
- マタニティ・ママパクラス【保健センター】 妊娠・出産・子育ての講義や実習
- 遊びの教室【保健センター】 親子の良好な関係づくりなど
- 家庭教育学級【生涯学習課】 保護者の家庭教育力向上など
- 子育て支援センターあいあい【こども課】 子育て中の親子の交流促進や育児相談

**問** 中川の治水対策「降雨量」の想定量は

**答** 既往最大雨量77mmに概ね対応している



齊藤 博 議員

問 町長は「所信表明」で中川の治水対策を挙げられたが、治水対策は、調節池、集団移転、内水対策の三方式を実施する計画なのか。計画の基である「降雨量」の想定はどの程度か。三方式を実施するなら、調節池方式を超える大規模な事業費が想定されるが、事業費の算定と財源確保の見通しを伺う。また、着工時期はいつなのか。

まちづくり課長 中川の治水対策は、調節池、集団移転、内水対策などを組み合わせることで、流域の治水安全度を高めることとしている。調節池は時間54mm対応を計画しており、余裕高を利用すると平成16年9月の既往最大雨量77mmに概ね対応できる。



早期の治水対策が望まれる中川（京成酒々井駅付近）

財源確保について検討しており、着工時期は、現時点では申し上げられない。

**京成宗吾参道駅周辺整備促進を**

問 京成宗吾参道駅の周辺整備について、駅周辺は「市街化を促進すべき地域」と私は思う。隣の公津の杜地区は土地の造成が進んでいるが、下岩橋や伊篠地区は「市街化調整区域」のままである。五十年前とは周囲の環境も変化しており、用途変更はできないのか。駅周辺では、京成電鉄の車両基地建設等が予定され、大きな変化が想定される中で、町は「協定を締結している」との説明だけで具体的なものはないが、協議の状況を伺う。また、「酒々井町都市計画提案制度」に基づく民間企業からの提案があるのか伺う。

まちづくり課長 市街化区域の編入には、土地区画整理事業等の確実な実施が必要となる。なお、宗吾参道駅から半径500mの範囲内で区域規模が1ha以上であれば、民間事業者等が都市計画提案制度を用い、地区計画を設定することで市街化区域に編入することなく、住宅等の建築が可能となる。京成電鉄とは定期的な協議を行っているが、都市計画提案制度による事業計画等の提出はない。

**問** さらになる学校給食費の負担軽減を

**答** 学校給食センター改築の際に軽減できる手法を検討する



地福 美枝子 議員

問 今後4年間の基本姿勢を伺う。

問 学校給食費無償化に向けて負担軽減はどのように考えているか。

学校教育課長 学校給食法で食材費は保護者負担となっているが、町は平成29年度から第3子以降無償化を開始し、さらに令和2年度からは町産の米や野菜等のほぼ全額を町が負担しており、更なる負担軽減は考えていない。

町長 総合計画を進めて行く中で学校給食センターの改築もあるので、この時に今までもよりも軽減できるような手法を検討したい。

問 国保税均等割りの軽減策について。

税務住民課長 子ども・子育て支援の観点から、全世帯の未就学児に係る均等割額を減額し、その減額相当額を公費で支援する制度が今年度創設され、令和4年度からの施行に向け、今定例会へ議案を提出したところである。



問 ふれ愛タクシー・循環バスなどの町内交通問題検討の進捗状況は。

**今後のコロナ感染症対策は**

これまでの経験に学び、今後に生かせること、国や県に要望すべきことがあると思いい、次の点を伺う。

問① 保健所の増設、職員の増員を強く要望を。

問② PCR検査、ベット数の確保、医療体制の充実など、今後の対策。

健康福祉課長①② 町民を守るため、県と連携するとともに、感染状況に応じた要望を行い、感染防止対策を実施していく。

問

米農家への支援を評価  
すべての農家への支援も要望する

答

米作農業者緊急支援給付金事業を  
実施する



竹尾 忠雄議員

コロナ禍による需要の落ち込みで米  
価が暴落し、「米作りを続けられない」  
と悲痛な声が上がっている。生産コス  
トは1俵(60kg) 1万6千円に対し、  
生産者米価は9千円台である。

問 町は米農家への直接支援に乗り出  
すべきである。

経済環境課長 水稲生産を主とする農  
業者を対象とする米作農業者緊急支援  
給付金の補正予算を今議会に上程した。  
要望 すべての農家へ支援を要望する。

緊急車両が通れる町道の改善を

問 市街化区域の下岩橋区のクラック  
状の狭あい道路は緊急車両が通り抜け  
られない。町は「建物の建て替え等に  
伴うセツトバックにより道路空間の確  
保を図っていく」と、改善は将来先の  
話であった。周辺には約70世帯の住宅  
があり、住民皆さんの命と財産を守る  
ためにも早急な改善が必要である。  
まちづくり課 財政状況等を踏まえな  
がら、事業化を検討していく。

旧JA跡地の活用は

旧JA東酒々井支店跡地について  
「建物の老朽化やアスベストの含有、

改修に多額の費用を要することから建  
物を解体し、アウトレット等からの誘  
客を図るため駐車場として利用する」  
との回答があった。

問 建物の解体費用を伺う。

経済環境課長 今後、積算をする。  
問 駐車台数は何台確保するのか。

経済環境課長 具体的な台数は定めて  
いないが、50台程度と考えている。  
問 アスベスト含有はいつ確認したの  
か。

経済環境課長 昭和49年度の建築であ  
り、その頃の建物はアスベストを含ん  
でいると考えている。

安全な通学路確保は急務

問 上岩橋上郷地区の町道は狭く、車  
も交互通行であり、拡幅工事が急務  
であったが、ようやく事業化に向け調  
査費が計上された。この道路は51名の  
中学生が自転車通学しており、失う命  
のないよう早急に改善すべきである。

まちづくり課 これまでも待避所  
の設置やすべり止めカラー舗装の設置  
等の安全対策を実施しているが、今後、  
早期に対策ができるよう検討してい  
く。

問

带状疱疹ワクチン接種費用の  
補助を

答

定期予防接種対象外だが、国の動  
向を確認しながら検討していく



小早稲 美穂議員

問 带状疱疹ワクチンの接種を希望さ  
れる50歳以上の方に補助をお願いし  
たいが町の考えを伺う。

健康福祉課長 国は水痘ワクチン、帯  
状疱疹専用ワクチンを認証している  
が、定期予防接種の対象としていない  
ため、接種費用は自己負担となる。町  
では助成制度はないが、国の動向等を  
確認しながら検討していきたい。

踏切内での事故防止を

問 9月に踏切内自動車置き去り事件  
があった成田屋前踏切(南酒々井駅前  
近)は、交通量や人も少ない。こうし  
た踏切内の安全対策とJR・京成電鉄  
の踏切内での安全対策を伺う。

総務課長 JR及び京成電鉄より、遮  
断機が降りている状態での保安装置と  
して、障害物検知装置等が設置されて  
おり、踏切内に自動車など大きな障害  
物を感じた場合、異常を知らされた  
運転手によって、列車を停止させる仕  
組みとなっているが、検知装置等は車  
を想定しており、人や猫・犬などは検  
知されないと伺っている。鉄道事業者  
は、踏切事故「0」に向けた、踏切事

故防止キャンペーン等を実施している。

交通安全対策の強化を

問 信号のない横断歩道の交通安全対  
策を伺う。

総務課長 警察と連携し、横断歩道標  
識の積極的かつ計画的な補修を要望し  
ている。また、街頭啓発活動等により、  
思いやりのある交通マナーを実践して  
通行する気運を醸成していきたい。

旧味だよりの活用は

問 「旧味だより」の利用について現  
時点での考えを伺う。

経済環境課長 京成酒々井駅と近いこ  
とから、包括連携協定を締結している  
京成電鉄と勉強会を行うとともに、同  
じく包括連携協定を締結している千葉  
工業大学の学生  
から活用方法  
の提案が予定さ  
れており、その  
結果を踏まえて  
有効な活用方  
法を検討したい。



旧味だより  
(京成酒々井駅西口前)



# 小坂泰久町長所信表明＝要旨＝

# 町長の5期目、第5ステージとまちづくりの施策

12月定例会では、5期目の町政運営にあたり、小坂泰久町長が所信表明を行いましたので、その概要をお知らせします。

▼所信表明・・・町長が任期の4年間を見通した政策の方向性について、選挙後に開催される議会場で表明するもの。



第47代酒々井町長 小坂 泰久

これまでのまちづくりの成果を礎に、町民の皆様の安全安心の確保を最優先とし、町民の福祉のより一層の向上とともに、地域の均衡ある発展を進めるため、各種施策の実施に取り組み、人口減少社会においても住みやすく持続可能なまちづくりを進めます。

5期目、第5ステージとして、5つの施策を考えています。

## 1 誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり

5歳以上11歳以下の児童へのワクチン接種並びに3回目の追加ワクチン接種に万全を期してまいります。

長年の懸案事項である、大雨等により頻繁に浸水被害を受けている中川周辺及び馬橋川周辺の総合的な観点での治水対策を重要課題として、解決に向け取り組みます。

## 2 子どもたちが健やかに育つまちづくり

保育サービスの充実、ひとり親家庭の自立支援、結婚・妊娠・出産に向けた支援の充実など、子育て支援の更なる充実を図ります。

酒々井小学校用地の公有地化、酒々井中学校のグラウンド

拡張整備と町の歴史・文化などを学習プログラムとして活用した酒々井学を推進し、郷土に対して愛着と誇りを育み、子どもたちが町に住み続けたいと思えるような教育環境の整備に取り組みます。



酒々井学の一環で行われる模擬選挙

## 3 誰もがいきいきと生活できるまちづくり

げんき館などを活用し、高齢者と多世代の方々との地域交流を促進し、高齢者の引きこもり防止や介護予防を推進してまいります。

介護施設が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めます。

## 4 魅力ある雇用の場をつくり定住の促進

農業や商工業の振興をはじめ、墨工業団地・南部新産業団地を中心とした酒々井インターチェンジ周辺地区の土地利用活性化のため、近接する成田国際空港の立地を生かした企業誘致に取り組みます。

新たに京成宗吾参道駅周辺のまちづくりの形成を図り、雇用の創出と定住促進に向け取り組みます。

## 5 歴史・文化・環境を大切にしたいまちづくり

国史跡本佐倉城跡、墨古沢遺跡をはじめとする歴史・文化遺産を活用し、「まちの顔」と位置づけしていくため、保存や整備の取り組みを行い、観光資源として、魅力情報の発信を推進

します。

し観光誘客など町の活性化を図ります。豊かな自然と快適な生活環境を維持するとともに、脱炭素化の将来ビジョンを策定します。



「続日本100名城」に選定されている本佐倉城跡

### むすびに

高齢化に伴う社会保障費や公費の増加など、山積する行政課題に対して、安定した財源の確保を図りつつ、効果的な行政運営を行い、豊かな自然と歴史を大切に、活力ある安全で安心なまちづくりをさらに進め、すべては町民の皆様のために、町政運営にあたってまいります。

引き続き、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

11月臨時会

議会議員・特別職・町職員の  
期末手当を引き下げ

総額1240万円を削減

令和3年11月臨時会で上程された議案は次のとおりです。

議案

■議案第1号

特別職の給与等に関する  
条例の一部改正

一般職職員の期末・勤勉手当における年間支給割合の改定に準じて、町長、副町長、教育長の期末手当の年間支給割合を「0・15月分」引き下げる改正をするもの。

※全員賛成で可決

■議案第2号

職員の給与等に関する  
条例の一部改正

県人事委員会勧告に基づき、

一般職職員の期末手当の支給月数を「0・15月分」引き下げる改正をするもの。  
※賛成多数で可決

討論

士気を下げることとは不適切  
であると考え反対

白井 則邦 議員

コロナ禍やワクチン接種に対応するために、役場職員は、今までになく多忙を極め、公務の重要性が社会に再認識された。ところが頑張ってコロナ禍に対応したことに對する評価が、民間との均衡のみを考えた期末手当の0・15月削減ということになれば、職員のやる気を削ぐ結果となってしまふ。

また、会計年度任用職員については、一般職職員、再任用職員に支給される勤勉手当がな

く、0・15月減少と一般職職員と同じように見えても、実際の期末手当は、一般職職員が約3・4%削減なのに対して、会計年度任用職員は約5・9%削減と大幅な減少となっている。まだしばらく継続的なコロナ禍での対応が求められるときに、期末手当削減により士気を下げることとは不適切であると考え、反対する。

一般職職員の期末手当引き  
下げには反対

竹尾 忠雄 議員

社会全体の働く人の賃金はここ数十年上がらず、逆に下がっている中で皆さん本当に苦労されている。さらに、原油高に伴いさまざまな物価も上がり、実質賃金はますます低下し、大変な生活状況となっている。賃金を引き下げることは、地域経済に大きな影響を与えることにな

る。このような点から、一般職職員の給与等の引き下げに反対する。

発議案

■発議案第1号

議会報酬等に関する条例  
の一部改正

町長、副町長、教育長、並びに一般職職員の期末手当・勤勉手当引き下げに関する条例改正に準じて、議員の期末手当の支給月数を「0・15月分」引き下げる改正をするもの。  
※全員賛成で可決



感染症対策のため分庁舎へ移転中の本会議場

議案と議決結果 (町長提出のもの)

賛成・・○ 反対・・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名 (件名は一部省略)	本会議の採決結果																	
		採決結果	小 泉 稲	白 井	大 石	酒 瀬 川	金 塚	須 藤	御 園 生	川 島 議 長	齋 藤	内 海	佐 藤	江 澤	竹 尾	地 福	越 川	高 崎	
1	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	可決 (賛14・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	一般職の職員の給与等に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決 (賛11・否3)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
＜発議案 議員提出の議案＞																			
1	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 (提出者 齋藤博議員 他4名)	可決 (賛14・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 新成人に聞きました

- ① あなたにとって酒々井町はどんなところ  
 ② 町にどんなことを期待していますか  
 ③ 将来の目標のために何を頑張っていますか



ひだわこうたろう  
**飛田和幸太郎**さん

① 安心する場所

② 若者が住みたくなるような施設やスポットの設置

③ 大学で専攻している勉強だけでなくボランティア活動にも取り組み、社会経験を積むようにしています。



おくだ あいな  
**奥田 愛菜**さん

① 人が優しく、心温まる場所

② 誰もが住みやすく、町内での交流が盛んになり、にぎやかな場所になること。

③ 保育士になるために、保育に関する勉強に励んでいます。



せきぐち みお  
**関口 美旺**さん

① 人々が温かく、安心して暮らすことのできる場所

② たくさんの人に訪れてもらえるような、活気あふれる町

③ 特別支援学校の先生を目指し、学業に励んでいます。母のような素敵な先生になれるよう頑張ります。



おおぎし ゆうた  
**大岸 勇太**さん

① 落ち着けて安心できる過ごしやすい町

② 多くの方が酒々井町に住みたいと思うような環境づくりや育児、教育等への支援制度の策定

③ 今後の町の発展の力になれるように、業務に必要な制度などの勉強に力を入れています。

## 編集にあたって

成人とは、人に成ること、自立した人間になるということです。政治・酒々井に興味をもっていただけることを願い、夢に向かい羽ばたくことを議員一同、応援しています。笑顔で心豊かに過ごせますように。

- 委員長 酒瀬川 芳子  
 副委員長 白井 則邦  
 委員 江澤 眞一  
 委員 御園生 浩士  
 委員 大石 法子  
 委員 小早稲 美穂

## 3月定例会のお知らせ

次の定例会は、3月2日に開会する予定です。

なお、感染症予防対策として、本会議場内で傍聴できる人数を制限する場合があります。傍聴を希望される方は感染症予防対策へのご協力をお願いします

また、議場は分庁舎2階第2多目的室に移転しています。

詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎(496) 1171  
 (内線271、272)